

# XEM

## CASE REPORT

## 肝門部メタリックステント閉塞に対し、 ZEOSTENT plus™を用いた経乳頭的 マルチステンティングが有用であった一例

京都第一赤十字病院 消化器内科 吉田 寿一郎 先生 佐藤 秀樹 先生





#### はじめに

近年内視鏡関連ステントや処置具の進歩、あるいは術者の技術の進歩に伴い、肝門部悪性胆道狭窄に対し、両葉へのメタリックステント(MS)留置は数多く施行されている。留置形式にはpartial stent-in-stent(PSIS)法とside by side(SBS)法が多く報告されているが、過拡張に伴う胆道出血や門脈閉塞が危惧されるため、当院ではPSIS法を第一選択としている。

しかしこれが閉塞した際、対処に難渋することが 多い。今回我々はPSIS法で留置されていた肝門 部MS閉塞に対し、ZEOSTENT plus™を用いた PSIS法での経乳頭的マルチステンティングが有 用であった一例を経験したので報告する。

#### 症 例

60歳男性。精神発達遅滞あり(施設入所中)。 2015年3月に黄疸で紹介受診。Bismuth II の肝 門部胆管癌と診断。社会的背景などから手術や 化学療法には同意されず、対症療法を行うことと なり、同年4月にZEOSTENT plus™をPSIS法で挿 入。減黄でき経過良好であったが、同年10月に再 度黄疸が出現した。

#### 治療経過

前回の治療でMSは1本が右肝管~中部総胆管に、もう1本が右肝管~左肝管に、PSIS法で挿入されていた。 ERCを施行した。まず 0.025inch guidewire(GW)をB8に位置し造影した(図1)。 中部 胆管より末梢側で閉塞し、右葉の狭窄は既存のMS内までにとどまっており、前区域枝と後区域枝は泣き別れていなかった。次に0.025inch GWをB2に位置し造影した(図2)。

左葉の狭窄は既存のMS内、肝門部よりわずかに末梢側までと判断した。まず左肝管に、ステント上端がB2、B3分岐部直下になるように合わせて、ZEOSTENT plus™(10mm×60mm)を留置した(図3)。次にGWを残したままデリバリーシースを抜去し、このGWにERCPカニューレを挿入、B8に留置されていたLandmark GWを目安に、GWをB8にアプローチした。Landmark GWを抜去した後、B8から総胆管にZEOSTENT plus™(10mm×80mm)を留置した(図4)。

いずれもステント下端は既存のMS下端より2cm 程度乳頭側となった。最後に造影剤の良好な通 過を確認し(図5)、手技を終了した。術後3ヶ月 間、ステント閉塞や逸脱は認めなかった。



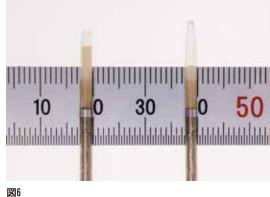


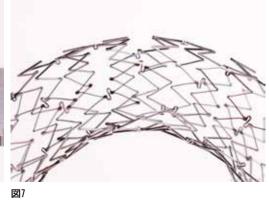












#### 考察

ZEOSTENT plus™はレーザーカットタイプのMS であり、shortningがほとんどなく、また視認性も良 好であることから、正確な位置にステンティングを 行いやすい。また適度な柔軟性と拡張力も十分に あるため肝門部胆管癌による閉塞に対しても有用 と考えられる。しかしtumor ingrowthや overgrowthによるre-interventionに際しては時 に手技に難渋することがある。

今回ZEOSTENT plus™で改良されたところはデ リバリーシステムの部分である。デリバリーは挿入 性向上のため先端部を7.2Frから6.8Frへ細くし、 シースとの段差を最小限にしひっかかりにくくし た。また先端チップをロングテーパーチップに変更 した(図6)。以上の改良によって、デリバリーがガイ ドワイヤにより追従しやすく狭窄を突破しやすく なった。本症例のような場合は、PSISで新たなス テントを間隙を通して留置を行う際にデリバリーの

先端がステントの間隙で引っかかり挿入に難渋す ることがある。しかしZEOSTENT plus™では改良さ れたデリバリーによりスムーズな挿入が期待できる と考えられた。またZEOSTENT plus™はステント を接合しているブリッジの部分が1周当たり3ヶ所 (他社は4か所が多い)でありステント間隙が広く メッシュスルーがしやすいのも特徴の一つである (図7)。

医療の進歩とともにMS留置患者の長期生存例 が増加すれば、MS閉塞例も増加する可能性があ る。MS閉塞時のドレナージに関して、現状ではコ ンセンサスが得られていないが、本例のように3本 目、4本目のMSは有効な症例もあり、特にマルチ ステンティングに適したZEOSTENT plus™は有用 であると考えられる。

製造販売元

XEMEX は日本ゼオン(株)の登録商標です。

### ゼオンメディカル株式会社